



マリアン

第29号

発行
京都ノートルダム女子大学
同窓会
平成11年4月5日発行
マリアンハウス
京・左京区岩倉幡枝町628
☎/FAX (075) 701-9149

続けることの大切さ



会長 高木里美
(3E)

同窓会の皆様一九九九年の春をいかがお過ごしでしょうか。

同窓会名誉顧問の本多学長様が昨年九月末日でご退職なさり、後任の梶田学長様が第五代学長として母校の新たな発展に精力的に取り組んでおられます。二十一世紀には少子化のため私立大学は存亡の危機に晒されます。母校のため同窓会としてできることは協力していきたいと思っています。

昨年十月二十八日に同窓会はマリアンハウス設立五周年を記念して、マリアンハウスオープンデイ「インド・ネパールチャリティバザー」を行いました。会員に加えて地域から

も予想以上の方々にお越しいただき盛会のうちに終えることができました。参加して下さった皆様に感謝申し上げます。今年も十月二十八日にチャリティバザーを行うことになっています。一人でも多くの方に何らかの形で参加していただきたいと願っております。

マリアンハウスができてから、同窓会活動は一段と活発になり、幅をひろげております。同窓会アクティビティの参加者の「学生時代より一生懸命予習して：」、「作品が段々と上手になって：」等々、嬉しそうにおっしゃる声を聞き、続けることの大切さを再認識致しました。

今日までの三十五年間、同窓会を育て続けてくださった役員や同窓生の皆様の奉仕精神とノートルダムスピリットに心から感謝しつつ、これからも同窓会がボランティア活動の場、生涯学習の場、そして親睦の場として更に発展することを願っております。微力でお役に立てませんでした。在任中二年間のご協力、ご支援に心から御礼申し上げます。皆様、ありがとうございました。

祝 御 入 会

本年度は、英語英文学科二五一名、生活文化学科一〇六名が三月十一日にご卒業になり、同時に第三十五期の同窓会員となりました。

ご入会を心より歓迎いたします。

学年委員は次の方々です。

中 かわり様 高岡 裕子様

目 次

続けることの大切さ	1
皆さんの大学が今、変わろうとしています	2
御退職の先生方	3
同窓会の皆様へ	3
「閑と生活空間」(タイム・アンド・スペース)	3
SSND日本ミッション50年	4
第35回総会案内	5
第34回総会報告	6・7
姉妹大学留学生来日	8
マリアンハウス報告	9
支部だより	10
懐しい集い同期会	11
同窓生だより	12~15
エクステンションセンターの新しい出発	12~15
同窓会アクティビティーだより	12~15
同窓会アクティビティー御案内	16

題字はSr.セリーンにお願いしました。

新学長を迎えて

平成10年9月30日、本多前学長が退任に伴い、10月1日新学長として梶田穀一先生が就任。同時に同窓会の名誉顧問としてお迎えしました。

皆さんの大学が今、変わろうとしています



学長
名誉顧問
梶田 穀一

今、皆さんの母校は大きく変わろうとしています。

新年度からは名前も、「京都ノートルダム女子大学」となります。1年すると（2000年4月から）4学科にしようということまで準備が進んでいます。

これまでの英語英文学科、生活文化学科に加えて、2つの新学科ができる予定です。

37年間の優れた伝統を大事にしながら、新たに、心理学や社会福祉の資格が取れるようになるでしょうし、国際関係や日本文化について、また哲学や美学などについて深く学ぶことができるようになるでしょう。

このため、この4月から新たに11人の中堅

・若手の先生方に、助教授・専任講師として来ていただくことになりました。これに伴って新年度からは1回生全員が教養ゼミ（仮称）をとることになる予定です。学生がテーマを選び先生を選んで、20人くらいずつに分かれて半年間勉強し、また次のテーマ、次の先生を選んで半年間勉強する、というものになる予定です。少人数の手作り教育が入学時から始まることになるわけです。

私も学長に就任して日の浅い新参者ではありますが、学生時代を京都で送ったこともあり、同窓生の方々にも知り合いが少なくありません。皆さんの御意見をいろいろ伺いながら、新しい時代に向かって精力的に改革を進めていこうとされている教職員の方々を力合わせて、頑張っていこうと考えています。

どうかよろしく御支援、御協力いただきますようお願いいたします。

京都・洛北の地から日本中に、いや世界中に向け、暖かい人間的な光を放つ精神的知性的な学び舎として、ノートルダム女子大学を大きく育てていこうではありませんか。

【経歴など】

島根県松江市で1941年4月3日出生。
鳥取県米子市で小・中・高校を卒える。京都大学文学部哲学科心理学専攻卒業。文学博士。
国立教育研究所主任研究官、日本女子大学文学部助教授、大阪大学人間科学部教授、京都大学教授・高等教育教授システム開発センター長などを経て、1998年10月からノートルダム女子大学学長。

『意識としての自己』（金子書房）、『自己意識の心理学』（東京大学出版会）、『真の個性教育とは』（国土社）など著書多数。

ありがとうございました。

本年は四名の先生方が定年退職なさいました。

奥村 宣嘉 先生（英語英文学科教授）
シスター・モーリン・プリンカー（英語英文学科教授）
シスター・ドロシー・ウェンハウス（教養共通学科教授）
シスター・グレイス・和田（教養共通学科教授）

同窓会の皆様へ

前学長
前名誉顧問
本多正昭

この度、健康上の理由で、突然のようすが学長職を退かせていただくことになりました。学長赴任当初より、私は同窓会の皆様の熱意溢れる母校愛、そこから湧き起こる様々な活動に感銘を受け、大変励まされておりました。微力ながら皆様の御期待に応えねばならないと念じて参りましたが、急激な環境の変化が心身にこたえて、かつてほとんど経験しなかった病欠を繰り返す始末。これでは学長としての職責に全力投球が出来ませんので、後事を次期学長に託して、九州の自宅に戻ることに致しました。

赴任当初から「風通しのよい大学づくり」をモットーに揚げ、対話を唯一の武器とし、建学の精神の現代的具現化に微力を尽くしてきましたつもりですが、十分に果たし得なかった目標は更に今後、次期学長のリーダーシップによって改新的に推進されていくことを切願して止みません。

仏教の古都京都、それも比叡山の麓に佇む唯一のカトリック系女子大学。赴任後間もなく、突然ビジョンが胎動し、これに圧倒されていた日々を思い出します。二十世紀最大の歴史的出来事は、史上初めて仏教とキリスト

教が深く相互浸透した(deeply interpenetrated each other)とき、何が生じたかということであるというトインビーの予言の成就を、私は今でもノートルダム女子大学の未来に夢見ております。実現はなお程遠いとしても、何か国際的ビジョンによって、本学が世の光に成れかしと念じつつ、私も今後、北九州山麓の研究所で、同じ夢の実現に集中的に取り組んでゆきたいと願っている次第です。

同窓会諸姉の御健勝御活躍を祈念しつつ。

「閑と生活空間」

顧問
英文学科教授
Sr.セリーン松本

昨夏、私は、旧友メリーに再会しました。夫を亡くした寂しさ、今までにない生活苦、現実の厳しさがあるにもかかわらず、彼女には何か余裕を感じさせるものがありました。

僅かの時間で、さりげなくつきあっている彼女の隣人との関わりは、一つの身近かな例です。日曜のミサ後、癌に病む夫を自宅で看護しているテレサを誘ってショッピング・センターへ。ホット・ドッグとコーヒーを楽しんだ後、お喋りをしながら一週間分の日用品、食料を入手。それだけのことですが、外出を躊躇

するテレサにとって、この短い時間は、うれしい息抜き、気晴らしの機会だったに違いありません。二人にとって友情が、愛と支えのうちに交わされたひとときでした。

メリーの一日は多忙です。しかし、彼女は、時々ポーチに出て、音楽を聴きながらコーヒーを飲みます。この僅かな憩いのひとときに、目先のちっぽけな悩みは広大な大自然に吸いこまれ、彼女は神の暖かい懷に包まれるのです。そして、さわやかな気持ちで、また、次の仕事につきます。このしばしの「閑と生活空間」は、彼女にとってのちよつとした贅沢です。こうして若くはない彼女は、倦むことを知らないエネルギーを得、疲れを回復する源を「閑と生活空間」から得ています。

年老いた親の世話をし、夫の面倒を見、子育てに悩み、煩雑な職場でストレスを感じる時にこそ、私たちは心の余裕を作りたいものです。「私たちは、空の鳥、野の花と同じで、何も思いわずらうことはありません。イエスが一番良い方法で私たちを養ってくださいのですから」(書簡七二四)と、マザーテレシアはご自分の体験から言っておられます。神の前に悠々自適であることは、私たちに許されている贅沢ではないでしょうか。

1998年11月29日ユニソン会館に於て
記念式典と感謝のミサが行われました。
同窓会からも更なる発展を祈り、祝意を
表わしました。



1948年日本に向かうミッシヨナリー

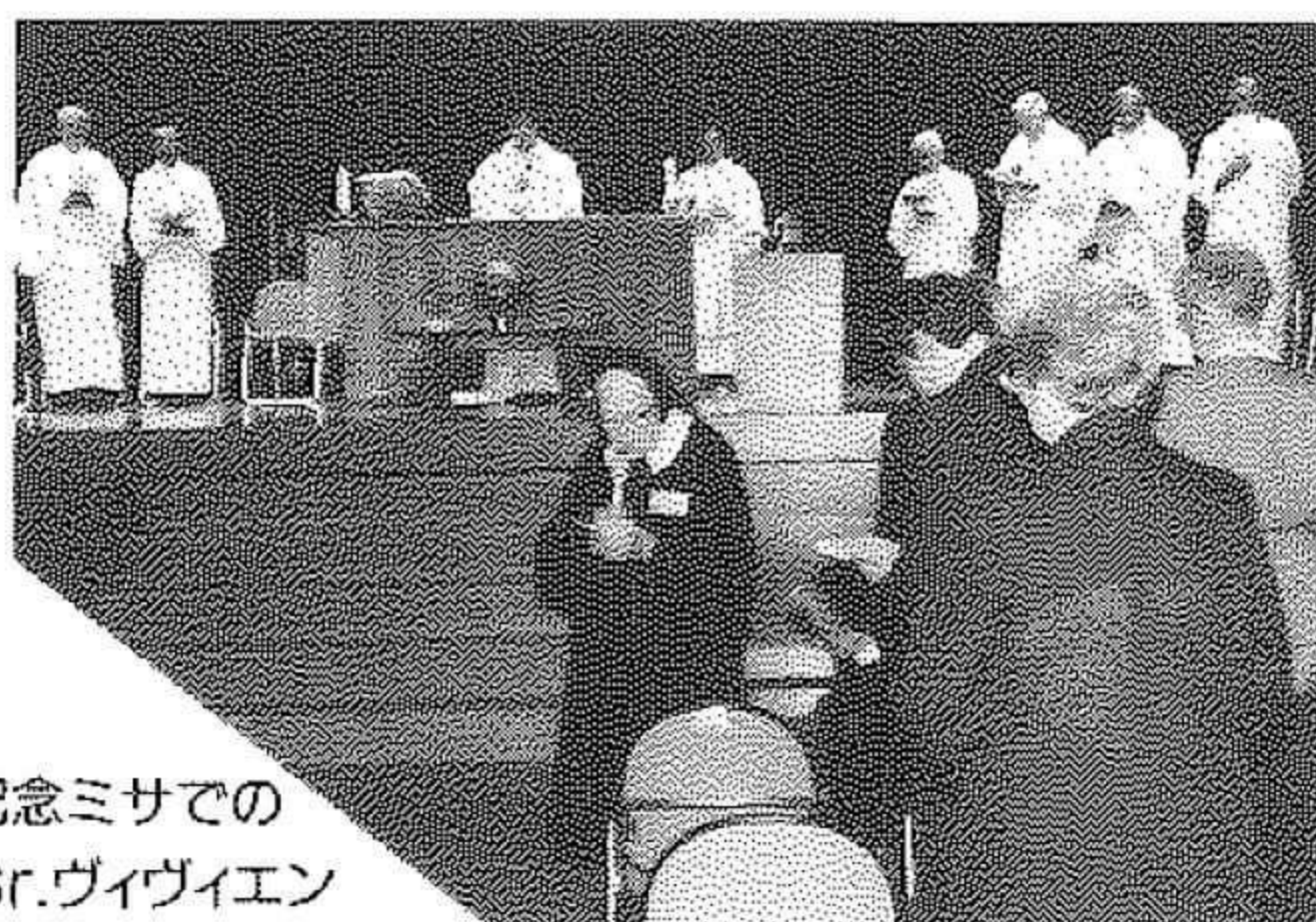
ノートルダム教育修道女会日本宣教50周年

SSND 日本ミッシヨン50年に思うこと

学校法人ノートルダム女学院 理事長 シスタージュデイス鎌田

ノートルダム教育修道女会の最初のミッシヨナリー、Sr.メリーユーヅニア、Sr.ヴィヴィエン等四名が、京都にカトリックの学校を開くために来日してから1998年は丁度50年目に当る。当時の日本は、太平洋戦争によって物質的にも精神的にも壊滅的打撃を受けていた。戦争中、人々がそのために命を賭け、

全てを堪え忍んだ
拠り所は根底から
覆された。住む家
もなく、日々の衣
食にも事欠く中、
人々が何より求め
たのは人生の指針
であり、国策に左
右されない真の人
間教育であった。



記念ミサでの
Sr.ヴィヴィエン

は、新生日本のこ
のニーズに應える
シスター達の来日
ものであった。占領軍政府は、学校設立目的でのシスター達の来日を許可したものの、目的達成に必要な金品はもとより、日常生活の必需品一切を自弁することゝを条件とした。勿論、シスター達にこのようなお金はない。彼女達がこの条件を充たすことができたのは、ひとえにアメリカでの子

供から大人まで様々な人々の惜しみない協力によるものであった。また、来日後のシスター達が、言葉も違う異文化の中で短時間で学校を始められたことは、使命に共感する日本での多くの協力者の存在なしには考えられない。丁度この頃、共産政権の圧政下で一切の活動を禁じられていた東欧のシスター達は、生まれたばかりの日本ミッシヨンの為に日々その祈りと苦しみを捧げていた。国内外からの支援と協力によって日本におけるノートルダム歴史が織り成され展開される中、今から15年ほど前には日本からネパールにミッシヨナリーが派遣された。今では山村の学校に幼稚園から短



Sr.ドロレス画

大まで550人余りの生徒達が元気に学んでいる。この歩みを可能にしたのは、日本を含む諸外国からの多大な援助と地元の人々の熱心な協力であった。50年の歴史を振り返る今、国と文化を超えた人々の熱い思いが今日の私たちを有らしめたことに改めて深い感動を覚える。そして、21世紀に向けて地球共同体の為に、この愛のネットワークを更に広げる私たちの使命を痛感している。

第35回 総会 案内

第35回総会は左記の通り開催されます。是非御出席下さいませよう御案内申し上げます。

日時 五月三十日(日)

午前十時半受付

午前十一時総会開始

午後二時半まで

場所 京都宝ヶ池プリンスホテル
「高砂の間」

TEL〇七五七二二二二

地下鉄「国際会館」下車

会費 大人七、〇〇〇円

小人一、五〇〇円

(ベビシッター有り)

祝周年

三十周年 五期生
二十五周年 十期生
二十周年 十五期生
十五周年 二十期生

規約改正並びに、新役員改選について総会において承認されますので、欠席の方は委任状をお願いします。

一、同窓会規約一部改訂について

第3章、第5条7、マリアンハウス管理運営委員代表一名を代表二名とする。

二、本部役員の改選について

左記の役員は任期満了に伴い今年度をもって退くことになりました。

副会長 家村 悦子 (上登野 4 E)

会計監査 今井喜代子 (福富 3 E)

庶務 荒瀬 忠子 (藤野 4 E)

稲葉 芳子 (井口 4 E)

米田村幸子 (北村 6 E)

新役員候補者は次の方達です。

会長 白井 君子 (高田 1 E)

副会長 本多 ゆり (佐伯 2 E)

書記 高木 里美 (小坪 3 E)

小亀 峯子 (杉本 3 E)

松本美佐代 (鳥原 3 E)

藤田 祥子 (葛川 1 E)

小笹 依子 (島津 6 E)

栗原 英子 (上田 1 E)

大田喜代子 (森 4 E)

田畑八千代 (村瀬 6 C)

中田由利子 (小谷 13 E)

人長久巳子 (東 7 C)

会計監査 マリアンハウス

管理運営委員 中島 克子 (長谷川 1 E)

久萬田澄子 (沢田 1 E)

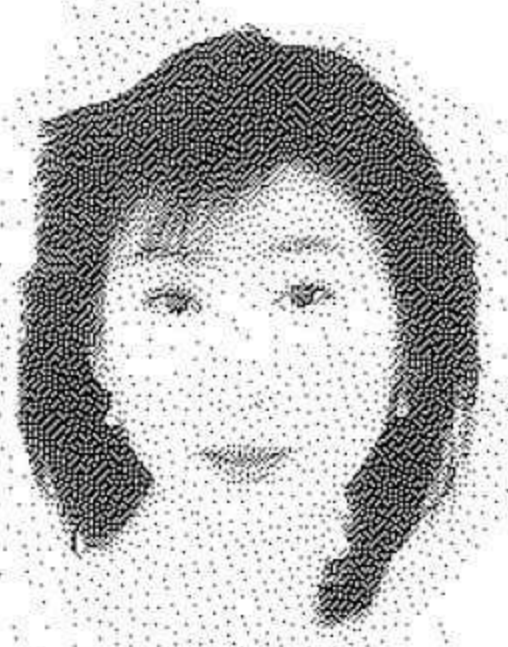
萩原 道子 (18 C)

同窓生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。今年度総会のお手伝いをさせて頂く18期荒井友紀子、萩原道子です。

平成が始まって以来の大不況、様々な恐ろしい事件など心を暗くさせる事が多い昨今です。家族を持つ私達にとっても心を悩ます事が少なくないのではないのでしょうか。

さて、そんな日々と少し離れて皆様と楽しい一時を持ちたいと思い、今年度は、ソプラノ歌手、日下部祐子さんをお招きする事になりました。ハープやピアノと一緒に歌われる日下部さんの美しい声を聞きながら、楽しく過ごした学生時代を思い、日々の悩みを吹き飛ばそうではありませんか。多くの方々との再会できるのを楽しみにしています。

ミニコンサート出演者



日下部祐子 氏

日本シェーベルト協会会員
関西歌劇団々員
京都音楽家クラブ会員

京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業
同大学院音楽研究科声楽専攻修了
フランス音楽コンクール入賞
大阪日仏協会賞・フランス総領事賞受賞
第3回日本国際モーツァルト音楽コンクール入選
飯塚新人音楽コンクール第3位
友愛ドイツリートコンクール第1位
平成3年度文部大臣奨励賞受賞

総 会 報 告



エンターテイメント ミニコンサート



先生を囲んで和やかに

緑映える初夏の5月17日、京都宝ヶ池プリンスホテルで第34回総会が開催されました。16名のシスター、先生方をお迎えし、同窓生118名が集いました。委任状は1,896通頂きました。

帰天なさった方々の御冥福を祈って黙禱を捧げたあと、会長挨拶、学長ご挨拶に続いて活動報告、会計報告ならびに新年度の予算案の承認をいただきました。

同窓会会員寄贈品バザー、本部及び中部支部手芸ボランティア作品販売の収益金を、「インド友愛の手」と「ネパールサポート」へ教育援助金として、各々に15万円贈呈しました。

総会後は17期生の企画によるミニコンサートが行われ、またボランティアグループのバザーも好評で学歌斉唱後、盛会のうちにおわりました。役員一同心から感謝申し上げます。



30周年（4期生）

祝周年を
迎えられて



ベビーシッターのお姉さんたちと



20周年（14期生）



25周年（9期生）



15周年（19期生）

平成9年度会計報告

自：平成9年4月1日
至：平成10年3月31日

収入の部		支出の部		
費目	決算額	費目	予算額	決算額
前年度繰越金	22,072,062	総会費	600,000	482,101
終身会費	10,095,000	マリアンスカラシップ	1,000,000	1,103,000
資産運用益	139,338	マリアン発行費	1,700,000	1,229,590
マリアンスカラシップ返済金	483,540	卒業記念費	500,000	532,725
クラスアクティビティ参加費	168,000	クラスアクティビティ	1,000,000	710,000
名簿代金	8,410	支部活動・援助費	550,000	494,000
		会議費	500,000	315,486
		交際費	200,000	107,150
		通信費	300,000	238,656
		事務費	300,000	284,082
		マリアンハウス運営費	2,000,000	2,000,000
		小計	8,650,000	7,496,790
		次年度繰越金		25,469,560
合計	32,966,350	合計		32,966,350

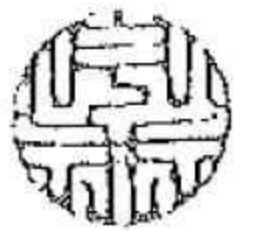
左記の通り決算報告中し
上げます。

会計 小笹 依子
小亀 峯子



本決算を審査の結果、
収入支出いずれも適正で
あることを認めます。

会計監査 今井喜代子



平成10年5月17日

平成10年度 活動報告

五月

第三十四回総会（京都宝ヶ池プリンスホテル）総会終了後関東、中部支部委員との合同懇談会

手芸ボランティア活動開始

各種クラス春期開講

六月

姉妹校留学生のホームステイ及びマリアンハウスでの合宿受け入れ
ステンドグラス講習会（マリアンハウス）

水越元学長の追悼ミサ参加

九月

シャドーボックス講習会（マリアンハウス）

十月

各種クラス秋期開講
マリアンハウスオープンデー（バザー、喫茶、作品展示）

マリアンスカラシップ二名に貸与

十一月

大学関係物故者合同追悼ミサ参加
中部支部総会出席
クリスマスリース作り講習会

ノートルダム教育修道女会五十周年記念式典列席

十二月

梶田新学長祝就任ミサ参加
ノートルダム学園キャンドルサービス参加
（ユニソン会館）

一月

各種クラス冬期開講

三月

同窓会新入会員への説明会
平成10年度会計決算報告書作成
第三十五回大学卒業式列席

四月

平成11年度大学入学式列席
平成11年度予算案作成

会報「マリアン」第二十九号発行

総会準備

役員会通算二十回

本部より御協力お願い！

★寄附金送り先

○「インド友愛の手」事務局

郵便振替・〇一〇三〇一三二四八八九

TEL・〇七五―七〇一―七二二八

○「ネパールサポート」事務局

郵便振替・〇一〇三〇一三二五九一二三

TEL・〇七五―七〇一―八三四三

★オープンハウス（10月28日）・バザーの為

の寄贈品をお送り下さい

送り先 マリアンハウス

TEL・〇七五―七〇一―九一四九

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町六二八

～姉妹大学交換留学生来日～

——マリアンハウスで初合宿も——

米国3姉妹大学から「日本語、日本文化論」の受講生10名が、5月24日から6月20日まで来日。

その間、同窓会国際交流ボランティア

として、週末ホームステイを受け入れ、ホストファミリーとして17家族がご協力下さいました。今回初めての試みとして、マリアンハウスでの週末合宿を受け入れ、夕食の準備、日本語での言葉遊び、国際会館見学、手芸ボランティアによる箸紙作りの講習等のお手伝いをしました。日本文化研究会の協力により、会員のお寺でゆかたの着付け、古代友禅苑見学等を共に楽



ゆかた姿もよく似合って

→ しました。

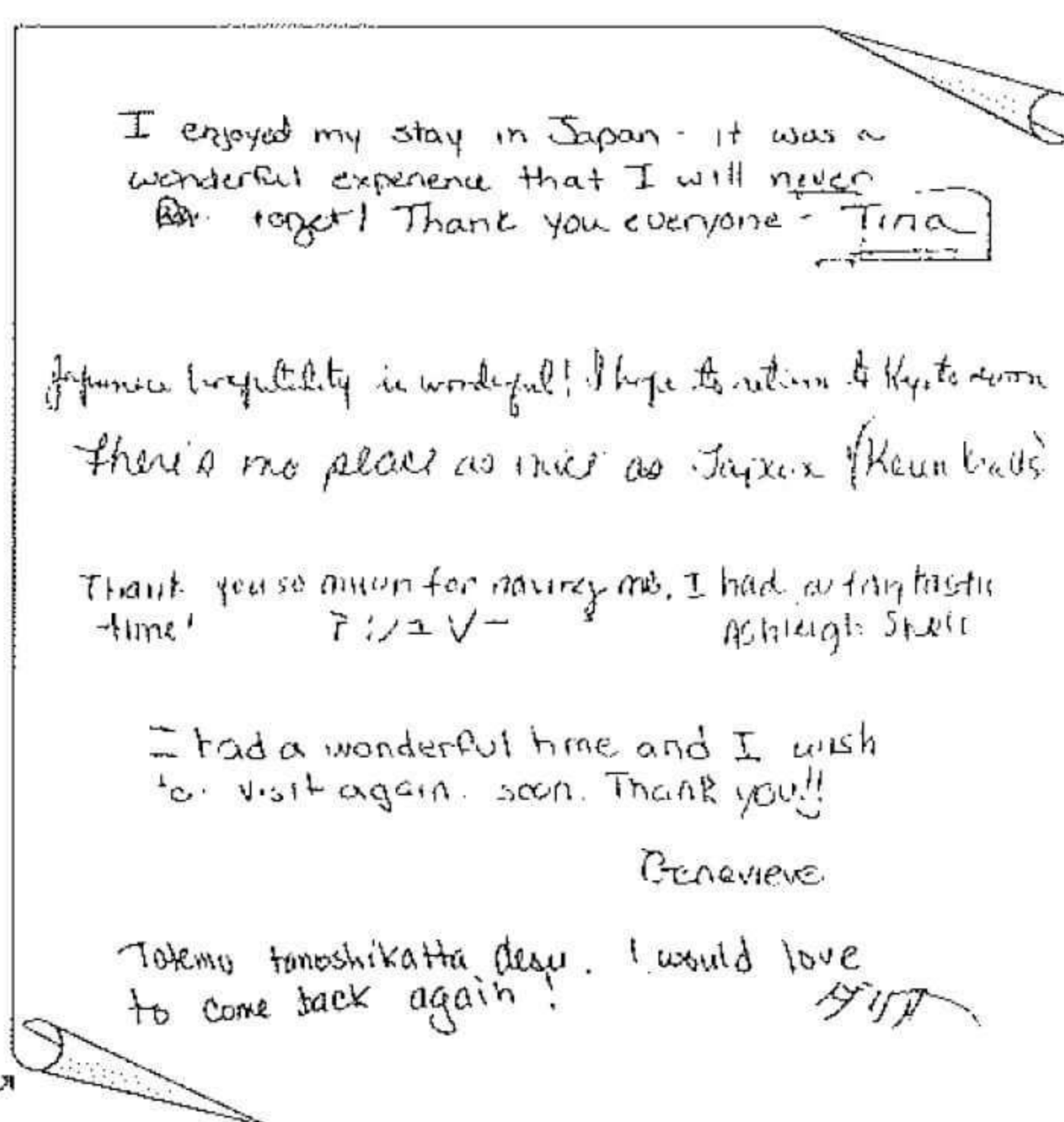
留学生との交流のみならず、同窓生間の交流の場ともなり、学びの多いことを喜び合いました。

18才から40才ま

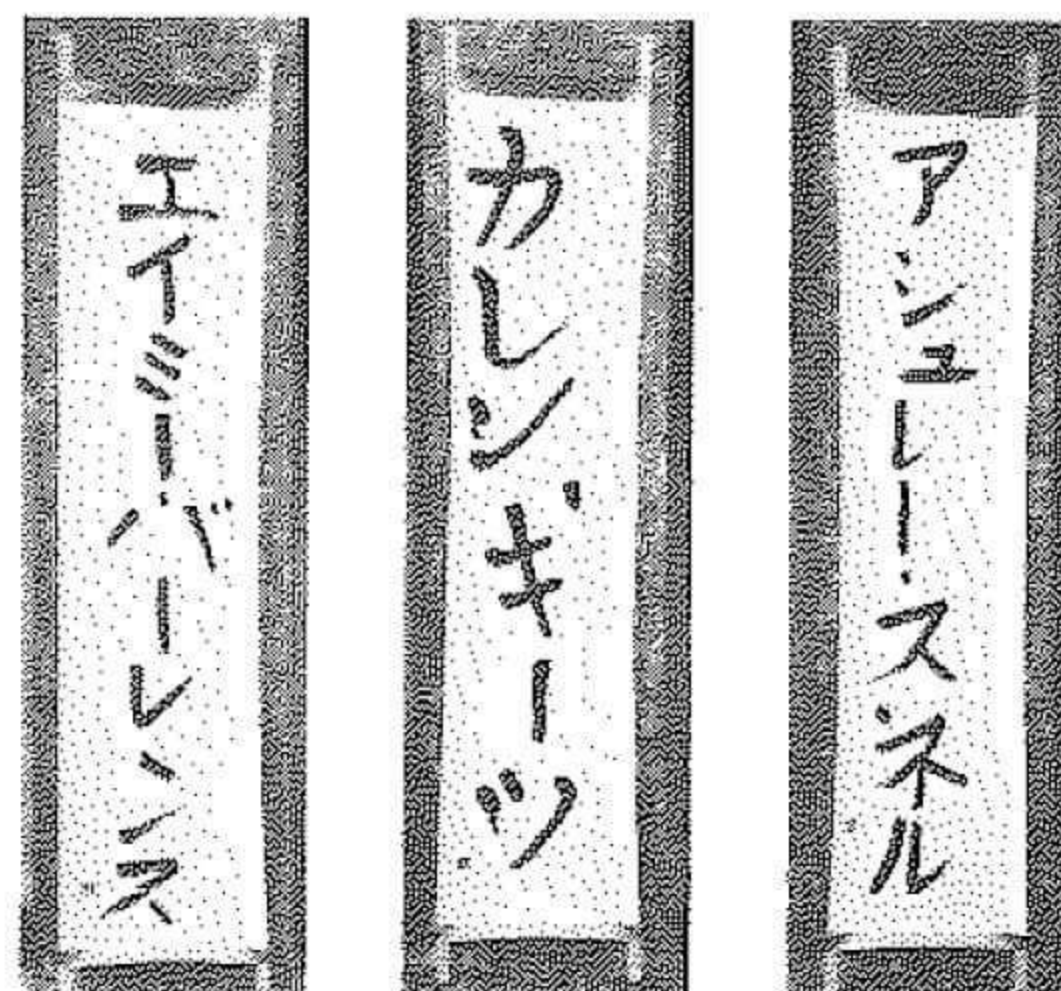
で、専攻も様々、個性豊かな10名でしたが、皆一様に皆様のご好意に心から感謝を表し、豊かな成果と貴重な体験を胸に帰国されました。

御協力下さいました皆様大変有り難うございました。

「国際交流ボランティア」に興味のある方は、登録をなさって下さい。登録用紙のご請求はマリアンハウス又は同窓会役員までご連絡下さい。



マリアンハウス合宿で箸紙づくりを楽しむ



初めての書道

マリアンハウス報告

マリアンハウス運営委員会からのお知らせ

同窓会会員の皆様にマリアンハウスをできるだけよくご利用いただくようにという意向で始めました一日講習会は、参加者も年々増え好評をいただいております。来年度は、新しい内容の講習も企画しておりますので、多数ご参加下さい。7月に、新学長梶田叡一先生の講演、10月には恒例のオープンデーも予定しております。

5月中旬…コンテナガーデン（お花の寄せ植え）	10月28日…オープンハウス（バザー）
6月16日…ステンドグラス	11月………絵手紙
7月………梶田叡一学長講演会	12月上旬…クリスマスリース作り
9月8日…トールペインティング	平成12年2月………お料理

正確な日時、費用等の詳細につきましては、マリアンハウスにお問い合わせ下さい。
尚、当マリアンハウスは次の八名の委員によって管理運営されています。

御意見、御質問がありましたら、ご遠慮なくお申し出下さい。

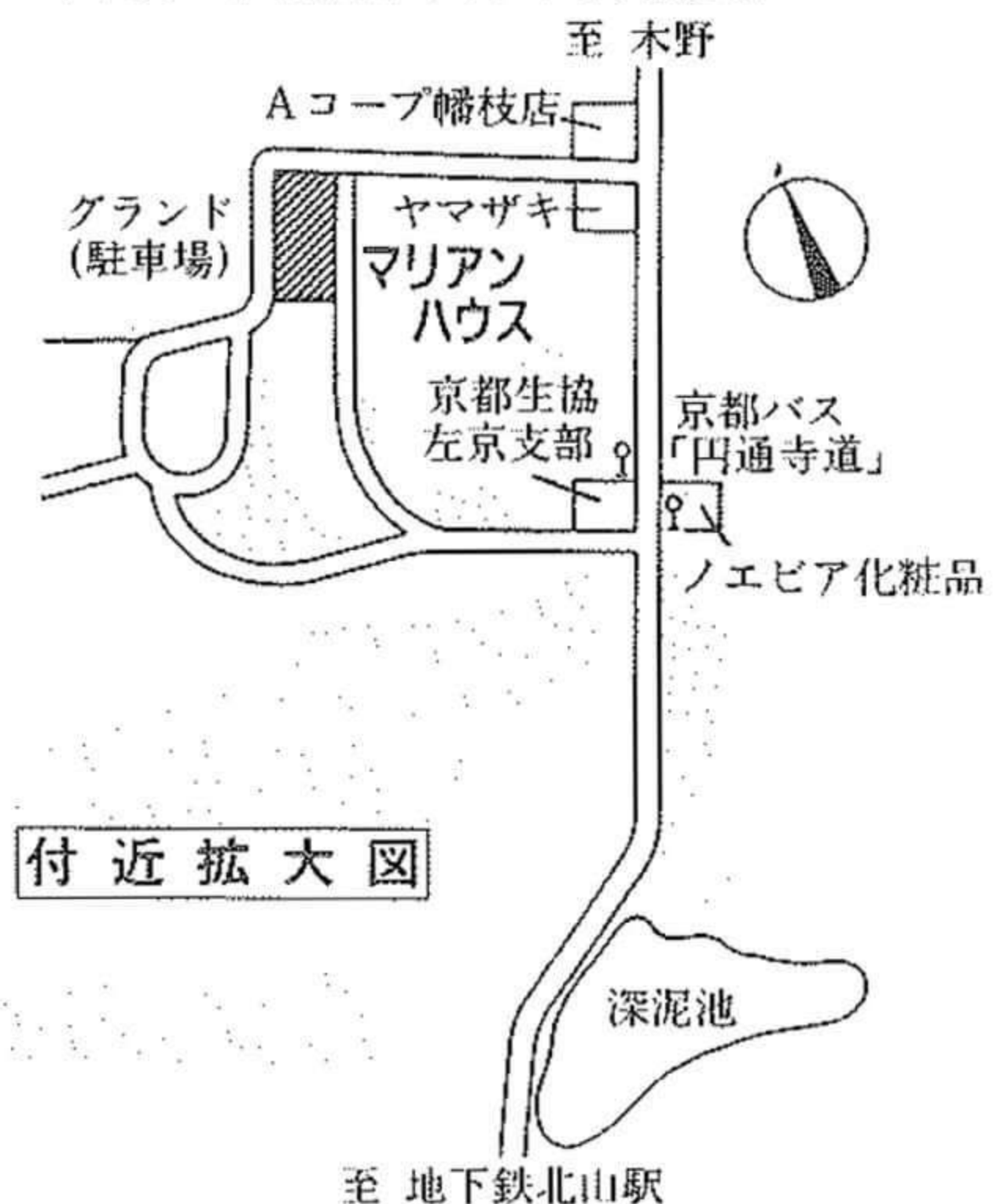
中島 克子(1E)	久萬田澄子(1E)	服部 万里(2E)	林 満智子(3E)
高山 敦子(4E)	伊吹 佳子(5E)	西村 晶子(5E)	米井 慶子(8E)

マリアンハウスを使用できる人

N・D女子大学同窓会会員、在校生と教職員及びND小・中・高校の同窓会本部と教職員。

会計報告（平成10年2月1日～11年1月31日）

収入：前年度繰越金	604,661	支出：NHK受信料	27,480
同窓会本部	2,000,000	水道光熱費	206,349
受取利息	2,394	通信費	118,274
宿泊費	97,461	保険料	107,500
	2,704,516	施設管理費	997,650
		設備費	110,272
予備資金として定期預金	4,000,000	文具消耗品費	42,000
		イベント費	205,104
		雑費	90,000
		会議費	37,527
		支払手数料	6,825
		次年度繰越金	755,535
運営委員会会計			2,704,516
伊吹 佳子			
西村 晶子			



使用出来る日時

月、水、金の十時am～三時pm
但し、右記の日時以外でも相談に応じます。

休館日

三月二十日～四月十日
八月十日～八月二十日
十二月二十日～一月十日

使用料（冷暖房費込み、台所使用可）

10:00am～3:00pm	
一階ホール	三、〇〇〇円
二階洋室	一、五〇〇円
二階和室	一、五〇〇円
二階和室 八畳	一、五〇〇円

宿泊について（冷暖房付、台所・浴室使用可）

宿泊料	一泊一名 三、五〇〇円
収容人数	十名
チェックイン	三時pm～五時pm
チェックアウト	十時amまで

申し込み方法

二週間前までにマリアンハウスに電話あるいはFAXでお申し込み下さい。
キャンセルは五日前までにご連絡下さい。
それ以後のキャンセルは費用の50%を頂きます。

マリアンハウス

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町六二八
電話番号 〇七五(七〇一)九一四九
FAX 〇七五(七〇一)九一四九

支 部 だ よ り

中 部 支 部

支部長 石田 章子 (3E)

中部支部も昨秋には十周年記念総会を催す事が出来ました。ご多忙の中、梶田学長はじめ山本利治先生、坂本武人先生、松井千枝先生やお懐かしい渡辺純先生―皆様お元気にご参加頂き大変充実した会を持つ事が出来ました。私達の母校がより素晴らしい大学になる様にと御努力頂いている様子を諸先生方から伺い頼もしく期待致しますと共に中部地区の同窓生も微力ながらも何かお役に立たなければと心新たに致しました。フルート演奏の中、会食、歓談と楽しい時が飛ぶ様に過ぎてしまいました。

活動としましては、機関紙「友」の発行、Sr.セリオンを囲んでの聖書研究会、有志による手芸ボランティアも続けられ、インド・ネパール友愛活動を些々やかに担って居ります。

十年という節目に支部長をお受けする事になり何程の事が出来るか不安で一杯でございますが、皆様の御指導と御協力を頼りに二年間を務めさせて頂きたいと存じます。

会員数も四六〇名の大家族となつてまいりました。皆様にとって少しでも楽しく有意義な会となります様役員、委員の方々と力を合わせて参りたいと思つて居ります。宜しくお願い致します。



支部長
副支部長
書記
会計
監査

石田 章子 (3E)
村井 弘子 (5C)
木田 幸子 (7E)
佐々木与志子 (12E)
鳥澤 佳代 (5C)

関 東 支 部

支部長 十河 温子 (11E)



平成10年、11年の関東支部の運営は、私たち11期生が担当することになりました。

当初、同期の会員は5名ととても少なくどうなることかと案じておりましたが、度重なる呼びかけに応えてボランティア精神旺盛な方々が出てきてくださいました。

少ない人数ではありますが会計を担当して下さることになった土屋(井上)紀子さんがしっかり支えてくださり、同期生との友情を再燃させ、おしゃべりに花を咲かせながら来年度の支部総会に向けて活動しております。

関東支部は会員の移動が激しいのですが、今回の会費納入状況から会員は1期生から31期生までで三九五名となりました。

今後は先輩の期別委員の方々の積極的なご助言を参考に、出席してよかったと思つていただける同窓会を催せるよう努めて参りたいと思つて居ります。

尚、本年度支部総会は左記の通りに決まりました。是非ご参加下さい。

日時…一九九九年九月十二日(日)十一時―十四時二十分
場所…新宿京王プラザホテル4階
会費…九千円―一万円の予定

懐しい集い—同期会

「四期生 三十周年の集い」

長谷川 るり子(4E)

NDコーラスクラブによるアベマリアの歌声が京都ホテルの会場に静かに流れる中、シスターセリーンをお迎えして四期生の三十周年同窓会が始まりました。北は北海道、南は福岡の実家から父上様の看病の合間を縫って京都へかけつけて下さった方等、各地から五十三名の沢山の出席を戴きました。

紅葉には少し早い同窓会が終った後、足ばやに冷たい風が吹き冬が到来、三十三年ぶりにし座流星群が流れる頃になるとシスターセリーンをはじめとする数通のお礼状が舞いこんで参りました。少しご紹介させていただき、当日の興奮を再び皆様にお伝えし想いおこしていただきます。この集いがこれからの私達の励みとして残りそれ／＼の心に生きる支えになることを願いながら、「楽しくおいしい同期会を有難うございました。」心が温まる素敵なお集いでしたね。素晴らしい秋晴れの中に私達の同窓会も無事に終り、本当に幸せな一時でした。学生さんのコーラスも私達の年代に合わせて歌って下さり、何度も涙が出て参りました。卒業以来お会いする方もいて、三十年という年月を飛びこして感激の一日でした。若い日々を共有した者達にのみ味わえる喜びをかみしめて本当に充実した同窓会ありがとうございました。」

シスターセリーンからはND卒業生を誇りに思うという最高のお礼状をいただきました。

尚ハガキの文面を許可なく使わせていただいた事深くお詫び致します。



ゴルフ仲間募集

ゴルフの同好会を作りました。ご参加下さい。お問合せは、西村晶子(五期)まで。

「九期生、二十五周年を集う」

西野 洋子(9E) 福田 啓子(9C)

昨年十一月四日、寄宿舎の舎監でいらしたシスター・メリー・グレイスをお迎えし、京都ホテルにおいて、初めての学年会を開催いたしました。遠くは岡山、徳島、そして岐阜からもご出席下さいました。当日は、二十五名程のこじんまりした集いであつたためでしょうか、お互いに変な親しく語り合うことができ、懐かしく、そして楽しい一時を過ごすことができました。二十五年間の隔たりも、すっかり縮まった感じがしたようでした。このような集いを通して、友情をより深めてゆかれますことを心より祈っております。皆様ありがとうございました。



同窓生

「広く浅くも大助かり」

私は現在、地元滋賀県の放送局を中心に、京都、大阪などでフリーアナウンサーとして働いて入ります。

仕事を始めてから4年、人間関係などまわりの環境には恵まれ、毎日忙しく動きまわっています。担当番組は、ニュースや教育、広報に情報バラエティーなどいろいろですが、やはり普段の生活の中で欠くことのできない「衣・食・住」について取り上げる事がほとんどです。



馬場かおり 氏 (31C)

フリーアナウンサー

紹介されていらっしゃる方もあります。今回は4名の方にご登場いただきました。

ごく身近な話題とはいっても、いろいろな人にインタビュする時には、限られた時間の中で、わかりやすく、ポイントをおさえた話をしていただけるように、うまく質問するのはなかなか難しく、その話題についての、ある程度の知識が必要とされます。

番組の台本といっても「」について聞くとか「」の話を受けてまとめる」としか書かれていない物も多く、全く知らないでは話になりません。またきっちりコメントが書かれた原稿を渡されたとしても、読んでいるだけでは、説得力に欠けます。

そんな中で、生活文化学科で学んだことが今の私の大きな力となっています。皆さんも一度番組を注意してご覧になって下さい。難しそうに特集されているのは、ほとんど大学時代に勉強したことばかりです。もちろん聞いたことがある程度の、広く浅い知識ですが、それでも専門家の方とお話をして会話がはずむのですから大助かりです。

こうして考えてみると、大学で学んだことが、今の私の大部分をつくりあげています。これからはそれを基礎に、いろいろなことを経験しながら、もっと大きく、そして深みのある人間に成長していきたいと思っています。



京都ノートルダム女子大学 エクステンションセンター

の新しい出発

生活文化学科教授
エクステンションセンター長

五十嵐節子

ユニソン会館において社会学習センターは会館完成以来、様々な活動を行ってきました。大学が変革を求められているいま、その立場をはっきりさせるために委員会規程を整えたのを機に、名称も京都ノートルダム女子大学エクステンションセンターと改称しました。エクステンションには生涯学習と同時に資格取得を目的としたカリキュラムにのりきらない学習の意味があります。エクステンションセンターは大学の研究と教育の成果を地域社会に発進していく基地でもあります。

資格取得のためのプログラムは、モリス学院のご協力によって、パソコン講座、日商簿記検定受験対策講座、秘書実務講座などの講座が開講され、文部省表彰を受けるほどの成果を着々と上げてきています。これらのビジネスコースに語学コースを平成十一年度から加えます。語学コースではまずTOEIC受験対策講座を開設し、受講者の英語実力向上と、より上級の能力証書取得を目指します。エクステンションセンターは公開講演会も企画しました。第一回は、童話作家の永田萌氏をお迎えし、平成十一年五月八日(月)午後三時よりユニソン会館大ホールで開催いた

だより



大藪千穂氏 (22C)
岐阜大学教育学部助教授
(家庭管理学)

8000名余の同窓生、その多くの方が多方面でご活躍中です。既にテレビ新聞等で

「アーミッシュから与えられたこと」

最近、決まって「不景気ですね」という話になる。もちろん景気は良いにこしたことはないけれど、「経済だけがすべてじゃない」なんて思ったりする。それは、ここ数年私が経済から少し離れて、アーミッシュの研究に携わるようになったからかもしれない。皆さんはアーミッシュという人たちをご存知だろうか。ハリソン・フォード主演の映画、「目撃者・刑事ジョン・ブック」で知った方も多いだろう。アーミッシュは今でもアメリカで300年来のライフスタイルを守り続けている、キリスト教再洗礼派のグループである。

特徴的なライフスタイルといえば、電気や電話を家に引かない、自動車を所有しない、農業が生活の基礎、馬や馬車を利用、簡素な生活、独特の衣服の着用、家族中心主義、相互扶助のコミュニティ中心の生活、独自の教育制度、独自の言語の利用などで、アメリカやカナダで暮らしている。彼らのことは、これまでもキルトや文化人類学、宗教的側面から紹介されてきたけれど、私はそのような理由ではなく、私達のライフスタイルを振り返る時のヒントとして、注目したいと思う。それは私達が豊かさを追い求めて走り続けてきた結果、環境問題や家族の問題などが生じてしまい、このままでは私達の社会が持続可能で在り続けることが難しくなっているからかもしれない。アーミッシュの社会は、科学技術の発展を主とした経済や物質的豊かさという意味では進歩しているとは言えないけれど、その代わりに私達が失いつつある自然や家族のつながり、ゆつくりとした時間、相互扶助の意識といった、環境や精神の豊かさという面ではずいぶん進歩しているようだ。

私達は今、幸せとは何かを問い直す時期にきていると思う。それは、私達のライフスタイルそのものを見直すことを意味していて、私達にとって、真の「進歩」とは何かを問うことから始まると思ったりする、今日この頃なのでした。

著書 晃洋書房『消費者問題』一九九五年共著

論創社『アーミッシュの謎』杉原利治・大藪千穂訳

躍進する母校

公開講演会

多数の御参加を！

講演者 童話作家 永田萌氏
演題 私の描く夢風景
日時 平成十一年五月八日 午後二時
場所 ユニソン会館大ホール

します。題は『私の描く夢風景』です。エクステンションセンターは大学の社会に広く開放された窓口です。近い将来、大学の研究成果を同窓生の皆様にもフォローしていただけるようなコースを増設していきます。既存のコースにも奮ってご参加ください。お待ちしております。

故水越元学長を偲んで

磯野 高子 (2E)

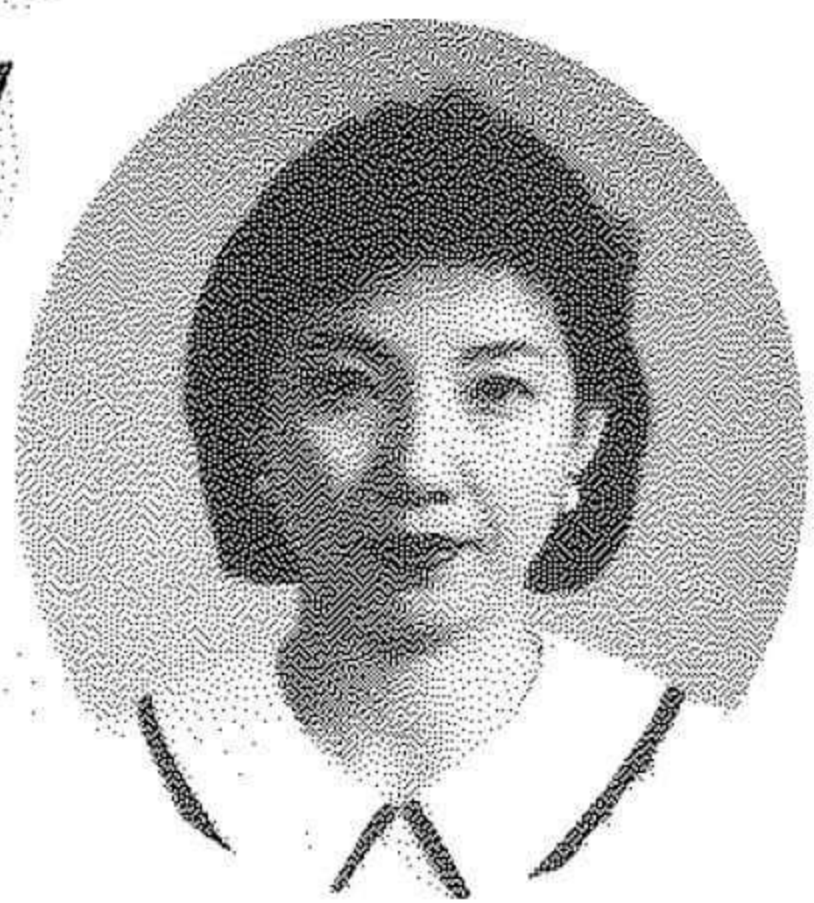
先生に最後にお会いしたのは、京都駅の雑踏の中でした。お急ぎの様子でしたが、「ぜひ、近いうちに会いましょう」と言っておきました。果たせなかったのが何とも残念で仕方がありません。

水越先生が学長に就任された年に、同窓会代表が学校法人ノートルダム女学院の評議員として迎えられ、翌年には、母校の国際交流プログラムの外国人参加者のホームステイをお引き受けするようになるなど、母校と同窓会の結びつきがそれまで以上に強くなりました。95年の同窓会総会には、母校を会場にお借りしましたが、先生おん自ら陣頭指揮に当たって下さったお姿が忘れられません。安らかにやすみになりますように。

「分かち合いの学習を通しての人間形成を」

団魂の世代に属する私は本学を卒業して、日本航空でスチュワーデスとして2年間従事しました。結婚退職後の10数年は、子育て中心の生活を送りました。その間、本学で美学を学ばせて戴いた知識を活かし、インテリアコーディネーターの資格も得ましたが、子育てに没頭する日々が続く、はたと気が付くと四十路を超えていました。

「社会参加をするなら、今しかない。」と、切実に思っている時期……そんな時期に、私はコンピュータと出会いました。「これからの時代の子には、英語とコンピュータが不可欠だ。」と信じ、自分の子供たちにコンピュータを利用しての学習をさせようと思い、猛勉強を始めました。ところが自学自習の偏った勉強では思うように進まず、同じ想いの友人たちを誘い、教えあって互いに励まし合いながら、プログラミングの勉強会を持つことで、



本田幸子氏 (70)
コンピュータ研究会
「メディアMAI」代表

どうにか進めることができました。今ではやっと、いくつかのCAIソフトを作れるようになりました。最近作ったCAIソフトの一つは、コンピュータが初めての人でも短時間で利用出来る教材作成用のツールです。これは、インターネットから無料でダウンロードしていただくこともできます。多くの仲間と分かち合いの学習をすることが、本学の建学の精神でもある「触れ合いを通しての自己実現や、広い視野に立脚した創造的情熱の精神」に、少しでも近づいた気がします。このことを教訓にして、自分の活動を社会に活かすことができたかと日々邁進しております。

現在は家業の容器関連会社の役員と、ISO14000・環境審査員の仕事をすると同時に、前述のコンピュータ研究会の代表もさせて戴いています。この会は約200名の会員で運営しており、本学出身者も含まれています。会の活動は、プログラミングを中心とした勉強会、それに関する出版やYMCAでの講習会を開いています。興味のある方は、お気軽に京都YMCAにお立ち寄りください。

著書

- ・森北出版「やっぱりハイパーカードらくらく入門編」「やっぱりハイパーカードおもしろスタック作成編」
- ・ディー・アート「ハイパーカード基礎プログラミング」「Access 97 販売管理」
- ・コスモ出版「ハイパーカードCAIプログラミング」

講読、会話など同窓生のためのクラスを数多く開いています。多数御参加下さい。

— 大学図書館案内 —

大学図書館利用案内

- 閲覧受付時間 午前9時～午後4時
- 貸出冊数 3冊まで 貸出期間 1ヵ月
- ☆在学生を優先しますので、期間内でも返却していただくことがあります。
- ☆休館日、開館時間の変更があります。前もって開館をご確認下さい。
- ☆蔵書、特に洋書の有無は、FAX〇七五―七〇六一 三七五二でお問合せ下さい。

英文雑誌講読クラスに参加して

立花あけ子 (9E)

タイム誌の最新号の中から比較的短い記事を一つ取り上げ、毎月、和訳を中心に話し合いも入れながら学んでいます。

クラスの中には、プロのようにスラスラと訳される方から、私のように落ちこぼれながら続けているものまで様々です。

正直に言いますと、タイムの記事は、私にはかなり難しく、毎回、直前には辞書と首っ引きで調べても、解らない事も多く、弱音を吐きつつ、マリアンハウスに行っています。

でもクラスに出て、上手に訳されるのを聞いて、刺激を受け、「ガンバロウ」という気持ちで帰路についています。

皆様の中で、子育てで長く英語から遠ざかっていただけれど、もう一度チャレンジしようと思っておられる方は、是非一度参加してみてください。

だより



川上加代子 氏 (40)
特別養護老人ホーム
「むれさき苑」施設長

「ほへみはほへみを生む春の風」

私は、昨年より姫路市におきまして、社会福祉法人「尚紫会」特別養護老人ホーム「むれさき苑」(赤い花も青い花も黄色い花も色とりどりの花が群がり咲くの意味)デイサービス、支援センター、ケアハウス等の施設長という大役を担わせていただいております。

少子・高齢化の時代を迎えて、福祉のあり方、施設のあり方が大きく変わろうとしている大切な時です。その中でこの仕事に接しますのにノートルダムで学ばせていただいたことに大きな意義があったことを気づかせていただいております。寄宿舎生活を通して多くの友達と共に生活した中より学ばせていただいた、相手が何を思い何を望んでいるのかを知ろうとする思いやりの心、又シスター・セリンから直々に学んだあの明かるい笑顔とやさしい言葉、日本全国より集まった心やさしき友人達と共に生活を通して人として生きていくの一番大切なことを学ばせていただいた

ていたことに気づきました。

私達人間はみんな、かけがえのない生命が人生の終わりに近づいた時を迎えるのに精一杯かがやきながら沈む真つ赤な太陽のように終らせたいと願っているのではないのでしょうか。当り前と思えぬ位の縁があつて人所下さつた方々、この御縁はただ事とは思えないのです。日本の一番困難な時代を生きぬき、今の日本をつくり上げて下さつた方々に感謝の思いをお返ししたい。そのような気持ちを込めています。

人はかならず老います。そして年をとるということは不安で心細くなるものなのです。若者は老人の予備軍。私達スタッフは許され生かされている時間も残り少なくなってきた方々と一日一日をすばらしい笑顔で、心のほへみを添えて悔いのない日々を送っていただけのようにと強く念じております。

毎日の生活の中から様々なことを教えて下さるすばらしい先輩達。生活の場は生きたお手本、人生の師となる方々ばかりの感動の場所です。

そのような所で生き／＼と元気に感謝と感動を持ちながら働けることは本当に勿体ないことです。私自身老いに向かつている身、多くの先輩のみなさまに学びながら、大切な笑顔を絶やすことなく今日も元気に働いております。お近くにおいでの際はぜひお寄り下さい。

「ほへみは ほへみを生む 春の風」
ありがとうございました。

同窓会アクティビティーだより (詳細は16ページ)

書道クラスに参加して

稲本美也子 (19E)

大学を卒業以来、関りも全くなく、まして同窓会会館の場所さえ知らなかった私でしたが、この「マリアン」がきっかけとなって、初めて書道クラスに参加させて頂きました。

各学期五回ずつ、ほぼ二週間に一回、というペースが私にとってほどよいものでした。家で練習して行ける日はほんの少しですが、先生も大目に見て下さって親切、ていねいにご指導頂いております。

そして、先輩方の和気あいあいとした明るい雰囲気、年齢差など関係なく親切に色々お教え頂ける事等、毎回行って皆様にお会いできる事が楽しみになってきました。

又、オープンハウスでは毎年一点ずつ作品を展示して頂けるので、愚作でも記念の品が増えていくのはうれしい事です。



オープンデーでの展示

日常とは一味違ったピンと張りつめた空気、思わず背すじがシャンとするような、そんな時間をもたせて頂ける事に感謝して、出来る限り続けさせて頂きたいと思っております。

同窓会 アクティビティー

クラス	講師	内 容	場所・日時	責 任 者
英文雑誌 の 講 読	シスター セリン松本	タイム誌などによる現代問題等の 英文和訳と内容についての討論 (日本語で行われる)	マリアンハウス 第4月曜日 10:30~12:00 5月24日より開始	立花あかり(9E)
聖 書	シスター セリン松本	聖書を英語で読みます	マリアンハウス 第4月曜日 13:00~15:00 5月24日より開始	宮井 順子(3E)
文学講読	シスター ザビエル	英語で文学作品を読みます	マリアンハウス 第2・第4火曜日10:30~12:00 5月11日より開始	中田記美江(7E)
英 会 話	シスター ザビエル	タイトルを決めてスピーチ、フリ ーカンパッション、能力に関係 なく楽しく勉強できます	マリアンハウス 第1・第3木曜日10:30~12:00 5月6日より開始	中元可津美(18E) 萩原 道子(18C)
書 道	寺田九緒	書道具持参	マリアンハウス 第1・第3水曜日10:30~12:00 5月19日より開始	林 満智子(3E)
仏 語	阿部哲三	能力に関係なく楽しい授業です	ND大学ユニソン会館 同窓会室(3階) 第1・第3火曜日10:30~12:00 5月18日より開始	瀬戸美奈子(2E)

手芸ボランティア	手芸品製作(売り上げ金はインド ・ネパールへ寄付)	マリアンハウス 第1・第3金曜日10:00~15:00 5月7日より開始	来田村幸子(6E)
----------	------------------------------	--	-----------

日本文化研究会	研究会、見学会など	マリアンハウス 第3月曜日 10:30~12:00	河智 泰子(1E) 大田喜代子(4E)
---------	-----------	------------------------------	------------------------

マリアンハウス カルチャープログラム	H11年5月中旬 コンテナガーデン(お花の寄せ植え) 6月9日(水) ステンドグラス 11月 絵手紙 7月 梶田学長講演会 12月 クリスマスリース 9月8日(水) トールペインティング H12年2月 お料理 10月28日(水) オープンハウス(バザー)	詳細は マリアンハウス (075)701-9149 までお尋ね下さい
-----------------------	---	---

《中部支部》

聖書クラス	シスター セリン松本	聖書の読んだ箇所各人の感想と シスターの解説	みこころセンター(052-971-0334) 地下鉄 桜通線、名城線 久屋 大通下車 (2番出口より北へ徒歩3分) 第2月曜日 10:30~12:30 祭日は休講	加藤真理子(2E)
-------	---------------	---------------------------	--	-----------

※お申し込み、お問い合わせは各責任者又はマリアンハウスまで。
 ※各クラス参加費は学期毎に1,000円。(但し聖書クラスは除く)
 ※各クラスプリントのみ御希望の方には、実費にてお送り致します。

色々学んだ二年間の広報担
当でした。御協力頂きました
皆様に心より御礼申し上げます。
広報担当 荒瀬・稲葉

編集後記

計 報
御冥福を心からお祈
り申し上げます。
水越 治 様(元学長)
H10・5・14 帰天
小林 京子 様
(旧姓松本16E)
H10・4・27 帰天
泉谷 康子 様
(旧姓佐々木7E)
H11・2・18 帰天

キリスト教文化研究所 春の講演会御案内	
「地球交響曲ガイアシ ンフォニー第三番」	日時…五月十五日(土)
二時から	映画上映
四時五十分から	龍村仁監督講演
場所…京都ND女子大学 ユニソン会館	入場料…五〇〇円